

築 チャリティーライブで「豊徳祭」幕開け
豊のビートルズに酔いしれる

10月28日に(社)豊徳会主催の豊徳祭が、方城体育館で開かれました。バザーやステージなど幅広い内容のプログラムで、特に仮面ライダー電王ショーは、ひときわ子どもたちの視線を集めました。その前日には地域交流センターで前夜祭のチャリティーライブが行われ、フライングエレファントがビートルズナンバーを熱唱。満員の観客を魅了しました。



前夜祭ラストはアンコールに込め、ビートルズの名曲「ヘイ・ジュード」を披露。

ホールホストを思わずオーバー、8ホールを声をかけ合いながらプレイ。



寒 福智町グラウンドゴルフ大会
さ吹き飛ばしたホットなショット

福智町グラウンドゴルフ大会が、11月18日に金田スポーツ公園で開催されました。各地区の予選を勝ち抜いた30チームの約200人が参加。1打ごとに一喜一憂しながら親善を深めました。参加者で最年少の高瀬絵里佳さん(市場小2年)は「おばあちゃんと交代で打ってドキドキしました。ぜひ、またやりたいです」と笑顔で感想を語りました。

赤池4保育所による獅子舞では、会場全体が拍手と大歓声に包まれました。



健 福智町敬老会
健康長寿を祝って初の合同開催

旧3町でそれぞれ行われていた敬老会が今年初めて統一され、11月11日に金田ドームで開かれました。70歳以上の5千52人が対象で、約2割の1千126人が参加。式典後に方城和太鼓の演奏で威勢よく始まったアトラクションでは、伝統舞踊や空手の演武など、趣向をこらした7演目が披露され、肌寒い会場のなか、参加者の心を温めていました。

「この器で何を飲もうか」感触を確かめながら品定め、女性には優しい色合いが人気でした。



陶 上野焼秋の窯開き
器の味わいと秋の味覚

10月26日から3日間、上野焼協同組合主催の「秋の窯開き」が行われました。会場となった上野焼陶芸館と上野焼協同組合の16窯元には、この日を待ちに待った陶芸ファン8千人以上が来場。秋の新作を手に、じっくりと吟味していました。また、上野焼陶芸館に隣接する上野の里ふれあい市では「地場農産物大売り出し」が催され、安くておいしい旬の食材や自慢の豚汁、今話題の新商品「上野の里梨ワイン」が大評判。来場者は陶器のぬくもりと、秋の味覚を堪能していました。

い IKKOさん福智町でテレビ収録
ちばん心安らく場所で故郷を語る

「どんだけ〜!」の言い回しで有名な全国的人気のメーキャップアーティスト・IKKOさんが、久しぶりに故郷の福智町に帰ってきました。10月25日に行われたテレビ番組の収録で、IKKOさんがお気に入りの「町を一望できる広谷の高台」を案内。「わたしは筑豊出身だということ一度も隠したことはない。時代の光と影を知るこの筑豊で育ったからこそ、今の自分がある」と自らの原点を語りました。



当日の朝に実家のお墓参りをすませ番組収録に臨んだIKKOさん。(伊方広谷で)

力 福智町子ども会ふれあいマラソン大会
走の後は最高のスマイル

11月11日に福智町子ども会育成連合協議会主催のマラソン大会が、金田河川敷合流点で行われました。町の合併を記念して始まったこの大会も今年で2回目。町内の小中学生67人が参加し、吹き付ける強風の中、沿道の声援を受けながらランナーが力走しました。力を出し切ってゴールした出場者は、達成感を表すように笑顔が浮かべました。



「負けないぞ」観客が見守る中、力強く飛び出した小学校低学年男子の部。

重さや質感のほか、色彩や形状についての感想を聞き取りする豊田教授



使 高齢者にやさしい上野焼を試作
使う人の気持ちになって考案

上野焼庚申窯の高鶴享一さんが、社会福祉学を研究する熊本学園大学大学院の豊田謙二教授の依頼を受け、高齢者用に工夫を凝らした食器を制作しました。11月17日に北九州市で行われた豊田教授の「高齢者の食と器」講演会で、上野焼の試作品アンケートを実施。ユニバーサルデザインの商品化に向けて、貴重な意見が数多く寄せられました。